号外

昭和59年12月9日

除雪対策特集号

市報 にいがた

市の人口

		前月比
人口	464,125	(+405)
男	227,232	(+210)
女	236,893	(+195)
世帯数	151,022	(+240)

59年10月末現在

発行日 毎週日曜日
発行所 新潟市役所 新潟市西堀通6番町866 電話(28)1000
編集 企画部広報課
印刷所 ㈱第一印刷所

市道898キロを除雪

通勤通学路線を優先

市では、このほど今冬の除雪計画を決めました。今冬は、二年連続の豪雪を教訓に、昨冬以上の態勢で、主要な市道の除雪に取り組み、道路交通の確保と市民生活の安定を図ります。また、自治会除雪に対しても、引き続き助成金の交付を行いますので、市民と市が一体となって除雪に取り組みましょう。今回は、除雪計画路線図を中心に、市の除雪計画を特集で紹介します。

路上駐車は除雪の妨げとなりますのでやめて下さい

除雪路線

市道延長千八百八十一㌔のうち、幹線道路、バス路線、生活道路を主体に、四七・七%に当たる八百九十八㌔、五百七十四路線を除雪計画路線とします。

昨冬と比べ、南浜、山の下、大江山、山木戸、坂井輪などの各地区で新たに六十一㌔、三十六路線が追加されました。

除雪態勢

除雪作業を円滑に早く進めるため、除雪路線を朝の通勤・通学時間帯までに除雪を完了させる第一種路線（除雪路線の三二・五%）と引き続き除雪を行う第二種路線に分け、この順で除雪します。

除雪車両は、民間の借り上げを含め、グレーダー五十七台、ショベルカー百二十一台、合計百七十八台（昨冬より三十九台増）を確保しました。

また、歩道橋の除雪を十二カ所、坂道のスリップ防止に融雪剤を百三カ所散布します。

除雪計画外の路線については、自治会除雪に対する助成措置を行い、市民生活の安定に努めます。

なお、災害対策本部設置時は、通勤・通学のバス路線を最優先し、主要路線の除雪に全力をあげ、順次、狭いバス路線や交差点の排雪をします。

雪捨て場所

昨冬までの寄居浜（青陵短大裏）、阿賀野川左岸（泰平橋下流の公園わき）の二カ所のほか、新たに阿賀野川右岸（濁川地先）も追加されました。災害対策本部設置時は、公共施設などの空き地も利用します。捨て場所には案内札を立てておきますので、指定外の場所には捨てないで下さい。

交通規制

除雪作業の円滑化を図るため、所轄警察署と協議し、今月十五日から来年三月十五日まで、中央・東・西の各警察署管内の狭い道路で臨時駐車禁止区間を設けます。

また一方通行規制を必要な期間、米山踏切（水島町から駅南方向のみ可）、天神尾踏切（駅南から幸町方向のみ可）、牡丹山線（牡丹山から沼垂方向のみ可）の三カ所で実施します。

自治会除雪
機械借上料の半額を助成

市では、自治会・町内会などが機械やトラックの費用を支払って、除雪計画路線以外の市道・農道・私道の除雪・排雪をした場合、今年も「自治会除雪助成制度」により、報償金として経費を助成します。

報償金の額

市の定めた借上料（実際の借上料が市の定めた額より少ないときはその額）を限度として交付。百円未満の報償金の額は切り捨て。

①人力除雪 市の助成なし。

②機械除雪 借上料の半額を交付します。

③排雪運搬用トラック 借上料の全額を交付します。

除雪回数の限度 報償金の対象となる除雪回数は、同一路線について原則として二回を限度としますが、降雪の状況により考慮します。

昨冬は低温大雪のため、同制度を利用して自治会など四百三十一団体が延べ千三百六十四回の除雪をしました。

申し込み

各地区事務所・連絡所、生活課へ

積雪は平年並み
12月下旬に大雪か
ー新潟地方気象台3カ月予報ー

新潟地方気象台は先月二十日に、十二月から来年二月までの三カ月予報を発表しました。それによると、この冬は、寒さは長続きせず、厳冬期（十二月末～一月）には一時大雪があるものの冬期の積雪としては平年並みか、やや少ない見込み。

【十二月】上旬から中旬にかけては暖かな日が多い。下旬には季節風が強まり、雪の日が多くなる見込み。

【一月】時々季節風が強まり雪が降るが長続きしない。中旬には暖かな日もあり、寒暖の変動は大きい。

【二月】季節風は弱く、平年に比べて暖かな晴天の日が多い。

玄関前は自分で 機械除雪では限界

機械除雪をしますと「家の前や駐車場の出入り口がふさがれた、何とかしろ」「まだ除雪車が来ない」「私の前の道路は除雪しないで」「深夜、除雪車がうるさくて寝られない」―など、市民の皆さんからおしかりの電話や要望が多く来ます。

除雪車は一軒一軒の家の出入り口まできれいに除雪できませんし、路上駐車があれば除雪できません。

雪と闘うためには、市民の皆さんと市が一緒になって協力しなければうまくいきません。除雪作業を木に例えるならば、幹や大きな枝は市でやります。小枝や葉の部分は市民の方々の役割で補っていただきたいということです。

除雪を円滑に進めるために、次の事について皆さんのご協力をお願いします。

違反駐車はレッカー車で排除

路上駐車があると除雪作業の支障となるばかりでなく、取り残された雪は交通の障害になります。

市では、除雪作業の円滑化を図るため、所轄警察署と協議を行い、今月十五日から来年三月十五日までの冬期間、臨時駐車禁止区間や一方通行などの臨時交通規制区間を設置します。違反駐車は警察がレッカー車で排除します。

大雪の場合はマイカー自粛を

大雪の場合はマイカー通勤の自粛をお願いします。

除雪車は一軒一軒の出入り口を除雪しながら走ることはできません。決まった機械や時間で皆さんの道路を少しでも多く除雪するために、各家庭の出入り口は自分で除雪し、車の乗り入れ鉄板などは、あらかじめ外しておいて下さい。

車道に雪を投げ出さない

除雪した雪を路上に投げ出すと、自動車やバイク、自転車、歩行者の通行の妨げになるばかりでなく、交通事故の原因にもなります。路上への雪の投げ出しは、やめて下さい。

道路標識や排水溝の保護

積雪のため、道路や排水溝の位置が分からなくなります。このため、路肩に標識を立ててあるところもあります。道路標識にいたずらをしたり、こわしたりすると除雪作業に支障をきたします。また、除雪作業の支障となるものには表示をして下さい。

スパイクよりタイヤチェーンを

雪国では雪の消える春先、自動車のスパイクタイヤが道路を削って「粉じん公害」「騒音」「道路摩耗」などの社会問題を引き起こしています。

スパイクタイヤは、できるだけ自粛して下さい。

降雪期は路面の状態をみて、タイヤチェーンを使用するようご協力をお願いします。

プロパンガスの屋外ボンベに注意

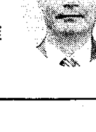
プロパンガス利用の皆さんは、たいてい戸外にガスボンベを置いていますが、積雪時、屋根から落ちた雪でボンベと引き込みホースの接続部分が外れることがあります。積雪時は、接続部分を点検し、できればその部分を保護する覆いを付けましょう。

みんなで協力し雪を克服
除雪に思う

五十嵐 又一さん（江口自治会長）

このへんは市内で最も雪の多い所と言われ、市街地はそんなに積もっていなくても、こちらへ来るとタイヤチェーンが必要、なんていうこともざらなんです。去年は豪雪のため、六回も業者に頼んで除雪を行いました。市から半額補助してもらっても、除雪予算をはるかにオーバーしました。今年行われた市政懇談会の席で、市が除雪する道路の延長を申し入れたところ、認めてもらい、大変助かります。

積雪時の路上駐車の禁止を徹底し、スムーズに除雪できるよう協力していきたい。



大堀 雄さん（浦山町第四区自治会）

昨年暮れに、町内のアパートから出火し焼死者が出たことから、消火栓の新設と共に積雪時の対応を考えさせられました。

各世帯の除雪では雪捨て場がないので、二月に初めて自治会一斉で除雪をしました。

今冬は、除雪効率からも浦山町十一自治会全部の一斉除雪が検討されています。